

手嶋委員からの質問に対する回答について

質問1(5) 高齢者の外出支援…P42

①公共交通機関の利便性の向上を図る理由と具体的な施策を提示してほしい。

【回答】

高齢者の外出支援の一つとして公共交通機関の利便性向上は必要な要素であり、現在も高齢者バス定期券の助成等実施していますが、具体的な交通施策については今後「米子市公共交通ビジョン」等に沿って、検討していくこととしております。

②「米子市社会福祉協議会と協力して、住民活動等のボランティアによる支援も含めて検討」について具体的に提示してほしい。

【回答】

高齢者の移動支援における具体的な施策は本計画ではお示しできませんが、他市の取組状況等も研究しながら今後検討していきたいと考えております。

※永江地区においては、地元のボランティアによる共助交通に取り組んでおられます。

質問2(1) 避難行動要支援者名簿への登録…P48

①名簿への登録人数と予想される支援者との差異はどの程度あるか。

【回答】

避難行動要支援者の対象は現在13,480人であり、うち登録者は2,205人です。現在、登録方法等について見直しを検討しているところです。

②-1 各地域の自主防災組織が避難支援を実施するのか教えてほしい。

【回答】

災害発生が起こると予想される時や発生時に、市は自主防災組織や民生児童委員、自治会等と連携しながら、要支援者への声掛けや同行支援等の避難支援や安否確認等を行うこととしております。

②-2 自主防災組織内の65歳以上の高齢者は高齢者等避難開始時には避難するのか、避難支援をするのか教えてほしい。

【回答】

警戒レベル3にあたる「避難準備・高齢者等避難開始」は、避難が必要となるような災害が起こると予想されるときに発表される防災情報で、避難に時間がかかる方は自身の避難行動を開始していただきたいと考えます。

(2) 地域住民と行政の協働…P48

〇力の結集とは具体的にどんな施策を実施することか、福祉保健部の過去の行動を提示してほしい。

【回答】

要支援者の個別支援プランを市、自主防災組織、民生児童委員等と情報共有しており、互いに連携

しながら、避難支援や安否確認等を行っております。

(3) 平常時の見守りや声掛け、災害時の安否確認や避難支援…P48

○地域との交流促進、災害に備える啓発とはこんなことを実施することか、福祉保健部の過去の行動を提示してほしい。

【回答】

避難行動要支援者の登録情報を自主防災組織や民生児童委員等に情報提供することによる日頃からの見守り活動や防災意識の啓発活動の促進、災害時に備えた地域における「支え愛マップ」の取組の支援等を実施しております。

質問3 (2) 疾病予防…P49

○各目標値（健康診査）受診率向上のために、9月末で、検診対象者中の未実施者を集約して、未実施者に対して検診を促すハガキを居住地へ郵送できないか。

【回答】

例年、健診開始時期の7～8月にかけては受診者が少なく、また、受診者の結果は1か月半遅れで結果データに反映されるため、9月末の時点では多くの方がデータ上未受診となります。

過去に、過去4年間米子市の実施する特定健診やがん検診を受診していない方へ、無作為抽出で2000人へアンケート調査を行ったところ、約6割の方が職場等においてがん検診を受けている結果が得られました。

そのため、職場等で健診を受けられない方々へ健診受診の機会の情報提供を徹底するため、周知に力を入れることが必要と考えております。